



笹小だより



⑳令和4年3月17日号

伊丹市立笹原小学校

142人の6年生が 笹原小を卒業！



6年生のみなさんは、いよいよ明日、小学校教育課程を修了して、笹原小学校を卒業します。ご卒業おめでとうございます。

コロナ禍による「まん延防止等重点措置」が延長された中での卒業式となるため、昨年度同様、簡素化して執り行います。児童・保護者とも一人一人の間隔を確保するため、残念ながら式場に在校生は入れません。6年生保護者の皆様におかれましても、保護者2名の参加にご協力いただき、ありがとうございます。学校としても、心を込めて卒業生を送りたいと思います。

またみなさんの卒業をお祝いして、本校PTAから祝品として「卓上時計」「卒業証書ファイル」「紅白饅頭」「コサージュ」そして「祝い花」をいただきました。ありがとうございます。

卒業式では、一人一人の卒業証書授与のタイミングで、卒業生それぞれが考えた「今の気持ち」や「中学校に行って頑張りたいこと」「将来の夢」などを、決意の言葉として演台横のモニターに映し出し、保護者の皆様に披露する予定です。卒業証書を立派に受け取る姿とともに、是非ご覧ください。

さて、6年生のみなさんが4年生の2月頃からは、新型コロナウイルスによる影響が大きくなり、これまで誰も体験したことがないような「3ヶ月におよぶ臨時休業」「分散登校」などがありました。そして、5年生の時には、楽しみに計画していた「自然学校」が実施できず、とても残念な思いをしました。しかし、6年生では何とか修学旅行に行かせたいという担任の熱く強い思いが叶い、行き先を県内の姫路に変更したものの、平和資料館での学習やクラフト体験、ホテルで友だちと過ごした時間、また2日目のセントラルパークでの楽しいひとときを過ごすことができました。卒業式当日も玄関「おもいで広場」では、修学旅行の様子をディスプレイで放映していますので、お時間があればご覧ください。

本校のリーダーとしての6年生。校舎内でも低学年の弟や妹にやさしい先輩でした。とても頼もしく、そして小さい子に優しく接するほほえましい姿もたくさん目にしました。

卒業しても、社会の中でその優しさを持ったまま、立派に節度ある行動がとれる人になってくれることと思います。困った時にこそ、人の真価は問われます。このことを忘れず、一人の人間として優しさを持ち続け、自分をこれからも精いっぱい磨いてください。

これから生きていく中では、誰しも必ず困難にぶつかります。そんな苦しい時に、あきらめず粘り強く、じっと我慢して努力することを続けてください。失敗しても終わりではありません。人生は何度でもやり直すことができます。みなさんの未来は、みなさん自身でつくることのできるのです。

す。これまで、笹原小学校のリーダーとして下級生を導いてくれ、本当にありがとうございます。きっと後輩たちも、みなさんにならって下級生の良いお手本となってくれることと思います。

5年生以下の児童も、少しでもお祝いしたいという気持ちから、校舎内の掲示板にそれぞれ工夫して作成した作品が掲示されています。保護者の方々には、校舎内にお入りいただけませんので、今号で少し紹介し、ともにお祝いする気持ちを持ちたいと思います。



